

特別講演

體質ニ就テ

醫學博士 中村 八太郎

(大正十一年十二月二十三日十全會講話部ニ於テ講演セシ要旨ナリ)

醫學ノ進步モ歩一步スルモノデ左右足相互ニ進ムベキモノデアル、即チ原因ノ方面デ見テモ昔時ニハ疾病發生上體質ノ關係ハ重キヲ置カレタノデアルガ、微生物學ノ勃興アリテヨリハ細菌又原蟲ノ如キアマリニ多ク持囃サレ體質ノ如キハ往々忘レラル、ヤウナ傾向ヲ來シタ、タトヘバ細菌ノ如キ外因的要約ノ存在即疾病ノ如ク考ヘラレタ事モアル、然シ事實ハ之ヲ許サナイ、結核菌ノ存在ハ結核症ノ存在トハイフ事ハ出來ナイ、「コレラ菌ノ保有者必ズシモ「コレラ病者デハナイ。疾病ノ原因的要約ト疾病自個トハ全然別個ニ取扱ヒテ考フベキモノデアル。疾病發生ニ向テハ外因的要約ノミデハ不充分デアルカラ、此頃亦體質ニ關スル點ハ漸ク人ノ注意ヲ促シ、其體質ノ發生ニ關スル本態的變ニ向ヒ研究ノ方針ハ向ケラル、ヤウニナツタ。

(153)

疾病ノ中デハ内因的要約ノ關スル所ガ少クテ殆ンド外因的要約ノミニヨリテ起ルト見ラル、モノモ全ク無イトハイヘナイガ、多クノ疾病ヲ觀ルト外因的要約ノ外ニ内因的要約ノ必要ナルモノ、アルハ認メラル、所デアル。換言セバ疾病ノ發生ニ向テハ種々ノ條件ガ必要デアル、而シテ其條件タルヤ同一ノ程度ニ於テ併立シテ居ルモノデアルカ、又原因ノ主ト副トシテ多少其間ニ差異ノ存スル事ヲ認ムベキカ。之ヲ條件說 (Konditionalismus) ヨリスルモ、原因說

(154)

(Kausalismus) ヨリスルモ、殊ニ化學的影響ニヨル疾病又傳染性疾病ノ如キデハ其外因的要約トシテ作用スルモノ、外ニ所謂素因ナルモノ、即チ内因的要約ノ大ナルモノアルノハ爭フ事ハ出來ナイ。若シ吾人人體ガ總テノ外的影響ニ對シ總テ一樣ニ反應スルモノデアルナラバ、總テノ人ガ總テ一樣ニ疾病ヲ發スル筈デアル。然ルニ常ニ一樣ニ作用スルノデハナク其レニ對スル感受性ニハ可ナリ甚ダシキ相違ノアルモノデアル事ニ少シク疾病ヲ觀察スルト知レルノデアル。

今茲ニ體質トシテ掲ゲタルハ Konstitution ノ事デ之ハ果シテ何ヲ指スノデアルカ。學者ニヨリテ其用キ方ニ多少異レルモノガアル。人ニヨリテハ『身體又臟器ノ繼續的性質デアル時體質ナリ』トシテ居ル又『刺激ニ對シ特殊ノ反應ヲ由來セシムル生活性質』ナリトスル人モアルシ、又『人ノ體質ハ其人ノ積極的及消極的素因ノ總和ニ他ナラズ』トシテ居ルノモアル。何レニシテモ普通體ニ比シ(質的ニ又量的ニ觀察シテ)、差異アル形態的又生理的狀態ヲ備ヘテ居ルモノ、アル事ハ事實デアツテ、其レニ應ジテ之等ヲ『特殊體質』ト做ス事ガ出來ルノデアル。主トシテ此等體質ハ先天的ニ得タルモノデアル。特殊ナル體質ヲ有スル事ガ特ニ疾病發生上ニ素因トシテ疾病ノ原因の條件ヲナスモノデアル事ハ目撃セラル、所デアル。古來後天的ニモ體質ハ左右セラル、事ガアルトシテ、ヒロク用キラル、場合モアル。個人ニ就テハ其解剖的部分(骨骼、筋肉、内臟等)、其組織ヲナス細胞及其新陳代謝又分泌物ガ此ノ體質ヲナスニ與ルモノデアル。ヒロク體質トイフ中ニハ、一、體格(Habitus) トシテ外ニ現ハル、モノ、二、身體及機能ノ上ニアルモノ(Konstitution)、三、精神的ニアルモノ稟賦(又稟質)(Temperament) ト分ツ事モアル。

體格トイフテモ昔ヨリ強健質、癆瘵質、卒中質ナド、分ツタ事モアリ、其レニヨリテ各異ツタ體形ヲ示シテ居ルガモトヨリ比較的ノ事デアル。又之ヲ他ノ分チ方モ出來ル、即チ 一、呼吸器型(Typus respiratorius)、二、消化器型(Typus digestions)、三、筋肉型(Typus muscularis)、四、腦型(Typus cerebralis)ガ之デアルガ、之ニヨリテ其ノ疾病發生ノ種類ニモ相異アルトセラレテ居ル。タトヘバ(一)ト(四)トノ型ノ人ハ肺結核症ニ罹リヤスイトセラレ、(二)ト(三)ノ型

ノ人ハ心臟、血管、腎臟ノ疾患又上氣道ノ急性病ニ罹リ易シト、又四ノ型ニハ機能性神經病ニ犯サレヤスイトセラレテ居ル如キデアル。此等ノ型モモトヨリ劃然タル區別ヲ立ツル事ノ出來ルモノデハナイノデアツテ種々ノ移行型モアリ得ル。

稟賦トイフモノニモ種々分ツガ此ノ名ノ起リハ昔時ノ醫學ノ名残りデアルガ、一、膽汁質(熱濃的偏性)(Cholerisch)、二、神經質(沈鬱的偏性)(Melancholisch)、三、粘液質(冷淡的偏性)(Phlegmatisch)、四、多血質(輕快的偏性)(Sanguinisch)ガソレデアル。事實上ニハカ、ル分ツベキ性質ノ人ハアルノデアル。之トモ判然分類シ得ルモノデハナイ。吾人ガ所謂異常體質トシテ稱スルモノ亦少クナイノデアル、之等ノ體質ニ向テ内分泌腺ガ可ナリ重大ノ意義ヲ有スルモノナル事ハ明カデアル。ソレデ少シク内分泌腺ノ事ニ觸レネバナラス。

内、分、泌、腺、ト、ハ、何、ゾ

吾人ノ身體中ニ腺ト稱スルモノハ其數甚ダ多イノデアル而シテ其腺中導管即排泄管ヲ有スルモノガアル、之レ普通ノ腺デアル。又排泄管ヲ有セズシテ其分泌物ヲ血管内ニ出シ其作用ヲ現ハサシムル如キ腺ハ之ガ内分泌腺デアル。

由來吾人ノ諸臟器ノ間ニハ相互關係ヲ有シ、其關係ハ神經ニヨリテ保タル、アリ、又化學的ニ保タル、モノモアル。殊ニ所謂内分泌腺相互ノ間ニ及又内分泌腺ト他ノ臟器等トノ間ニハ化學的相互關係ガアルノデアル。而シテ其内分泌腺相互關係トイフ中ニ其働作用(Synergistisch)ノモノアリ、又拮抗作用(Antagonistisch)ナルモノガアル。然シ之ヲ定メル事ハ實地上ニハサホド容易ノモノデハナイ。カ、ル化學的種々ノ作用ニヨリ相互ノ間ニ平衡狀態ガ保タル、ハ普通デアルガ、若シ其何レカ作用ノ旺盛又ハ減弱ノ事ガアルトスルト其平衡狀態ハ破レ、或ハ疾病ヲ起シ又異常體質ヲナスハ考ヘラル、所デアル。

内分泌腺ト稱スルモノデ全然内分泌ヲノミナスモノガアル、又外分泌腺即排泄管ヲ有スル腺デ一方内分泌ヲ有スルモノモアル。上述相互ノ間ニ化學的聯絡ヲ保ツ上ニ必要ナルモノハ之レ一般ニ Hormone トシテ示サル、モノデアル。

其「ホルモン」ナルモノハ刺激素 (Reizstoff) ノ眞義ヲ示スモノモアルガ、亦有害物質中和ノ意義アルモノモアル。今日吾人ガ知ル内分泌機能ヲ有スルモノトシテハ腦下垂體、松果腺、甲狀腺、上皮小體、胸腺、副腎、脾臟、頸動脈腺、生殖腺等ガアル。カ、ル内分泌腺ノ生理學的作用ノ尙モツト闡明セラル、時今日未知ノ領域ノ開拓セラレ、光明ノ輝ク事アルハ期待セラル、所デアル。内分泌物ノ作用領域ハ甚ダヒロクシテ新陳代謝ノ上ニ、發育ノ上ニ、血行ノ上ニ、外分泌及内分泌ノ上ニ相互ニ關係シ、又筋肉緊張ノ上ニ、神經支配ノ上ニ、性慾ノ上ニ、精神關係ノ上ニ作用ヲナスモノデアル。内分泌物ノ缺損スル事ニヨリ缺陷狀態ヲ示シ、又過剰ニ存スル事ニヨリ自家中毒の狀態ノ發現スルモノデアル。學者ニヨリテハ人種ノ特徵ハ内分泌腺ノ作用ニ關係ストシテ居ル、タトヘバ腦下垂體型 (hypophysiärer Typus) ト甲狀腺型 (thyreoidaler Typus) ト區別シ、歐羅巴人ニハ腦下垂體機能比較的二強シトシ、黑人及ビ「モンゴリヤ種」ニハ甲狀腺ノ機能比較的優ルモノトシテ居ル。此ノ詳細ハ其原著ヲ見スカラ明カニハイヘス。其他内分泌腺中デモ甲狀腺ハ頭蓋ノ形ヲ定ムルモノトシ、生殖腺ノ間質腺ハ體形及二次性性徴ニ、副腎ハ色素關係ニ、松果腺ハ體ノ大サニ與ルモノナド、モイハレテ居ル。動物殊ニ蛙ノ蝌蚪ノ發育ノ上ニ諸内分泌腺ノ越幾斯ノ影響アル事ハ實驗的ニ種々試ミラレタノデアル。内分泌腺ノ機能ノ研究ハ種々ノ方法ニテ企テラル、必要ガアル。之ニハ人體ニ於ケル病氣ニ就テノ觀察ノ外、又其内分泌腺ノ剔出ニヨリテ來サル、缺陷狀態ノ觀察及其臟器越幾斯ノ注射ニヨリ來ル狀態變異ノ觀察ノ如キハ一般用キラル、方法デアル。又殊ニ「バラビオーゼ」ニヨルモノモ甚ダ興味アルモノデアル。諸種ノ「ホルモン」中最モヨク知ラル、ハ副腎ノ「クローム親和系ヨリセル「アドレナリン」デ、他ニハ之ホドニ明カニセラレタモノハ少イ。由來「ホルモン」ハ蛋白又膠質ナラザルモノデアルトサレ、諸種動物種族ニハ特殊ナラズトセラル。從ツテ若シ「ホルモン」ガ精製セラレ得ルモノトセバ内分泌ノ關係ハ今日以上知見ニ進歩ヲナスベキハ明カデアル。今日用キラレル臟器越幾斯注射ニヨルモノニテハ成程「ホルモン」ハ含マレ居ルトシテモ、其以外ニ種々ノ有機又無機ノ物質ノ混在アル故、之等ノ殊ニ有害作用アルモノデハ人體ニ向テノ試驗ニ用ユル事難ク、動物ニテ用ユルトシテモ眞ノ

「ホルモン」ノミノ作用ヲ完全ニ知ル事ハ難イノデアル。一例ヲ舉レバ松果腺ノ越幾斯ヲ考フルニ、此越幾斯ノ注射ガ動物ニ或種ノ變ヲ惹起シタトシ、其變ヲ精細ニ觀察スル時無機鹽ノ作用ト見做スベキ部分ガアル、之ハ松果腺ノ「ホルモン」ノ作用デハナクシテ、其腺ニ含マル、砂粒成分ノ作用デアル事ガ分ル如キデアル。

吾人屢々異常體質ヲ有スルモノニ於テ、内分泌腺ニ特殊ノ變アルモノヲ見ル。其際其ノ體質ガ其ノ内分泌腺ノ原發性變ニヨリテ惹起セラレシモノナリヤ、又其體質異常アル事ガ主ニテ其ノ内分泌腺ノ變ハ其ノ體質異常ノ部分現象ト見做スベキカノ點ニ就テ、其決定甚ダ困難ナルモノガアル。尙且吾人研究者ニ向ヒ困難ヲ覺エシムル場合ガアル、ソレハ上述セシガ如ク内分泌腺相互ニハ聯絡的關係ガアルモノデアルカラ、一内分泌腺ニ原發性ノ變アリトセバ之ニ相關聯シ他ノ内分泌腺ニ二次性ノ變ヲ將來スル事ガ甚ダ屢々アル。カ、ル際發現セル疾病又體質異常ガ一腺ノ變狀ニヨリ起サル、モノナリヤ、又多腺性ニ來サル、モノナリヤノ決定ノ如キモノデアル。往々總テノ體質ハ常ニ種々作用ヲ營メル内分泌腺ノ影響ニヨリナサル、モノトセラル、事ガアル、胎生期ニ於テモ其ノ發育ノ相互關係ハ其ノ「ホルモン」作用ニヨルトセラレテ居ル。

體・質

一、體質ニ向テ殊ニ甲狀腺ガ甚ダ意味ヲ有スル事ハ明カデアル。

(イ、甲狀腺機能減退性體質 (hypothyreotische Konstitution))

此場合ニハ脂肪過多ニ傾キ、脱毛、「レウマチス性又神經痛性障礙、早發動脈硬化症、老年性退化現象等ヲ來スモノナリ、動作ハ不活潑、手足ノ冷感、體溫ノ冷キ事等注意スベク。後述ノ「アルトリチスムス」ト甚ダ相類ス、サレド一様ナリトハイフ事ハ出來ス。

(ロ、甲狀腺毒性體質 (thyreotoxische Konstitution))

體形大ニシテ細ク、神經性、興奮性ノ狀ニアリ、皮膚ハ濕潤發汗多ク、心悸亢進シヤスク、下痢ニ傾キ、物質代謝

(158)
高マリ眼ハ大ニテ光アル如キ之デアル。

二、痙攣性素質 (Spasmophile Diathese) ガ上皮小體機能減弱ト關スルヤ否ヤハナホ不明デアル。

上皮小體機能減退性體質 (hypoparathyreotische Konstitution) ヲ有スル人又上皮小體ノ剔出ヲ行ハレシ動物ニアリテハ齒ノ珐瑯質ノ發育不全ヲ見ル事アリトセラル。

三、腦下垂體前葉ノ除去又ハ消失ニヨリ發育ノ阻止起リ、侏儒ヲナス。又生殖器ノ成熟ノ停止ヲ將來シ、成人デハ生殖器萎縮、脂肪過多ヲ來ス。

腦下垂體機能亢進 (Hyperpituitarismus) ニテ成人ニハ肢端肥大症ヲ來シ、小兒時ニアリテハ骨性ノ巨大發育 (Gigantismia pituitaria) ヲ來ス。然シ生殖器發育ハアシキモノデアル。

四、胸腺モヨク引合ニ出サレルガ、其發育不全ニ就テハ特ニ興味アルモノガ無イガ。増生ノ狀アルノハ胸腺淋巴體質 (Status Thymicolymphaticus) ノ時ニ見ラル、ノデアル。此胸腺ノ生理的機能ハ明カデナイケレドモ、Palaud ガ此特殊體質ヲ記載シテカラハ此胸腺淋巴體質ナルモノハ屢々認メラレタノデアル、胸腺ノ肥大ト共ニ著シキ重大ナル體質異常ヲ見ルノデアル。此ノ名ハ無クトモ其事實ハ Rokitsky ノ時ニモ記サレタノデアル。何故ニカ、ル體質ノモノガヨク急死ヲ遂グルカ等ノ點ニハ種々考ヘラレルガ、一般ニ此胸腺自個ニ重大ナル意義ヲ置クベキモノトハサレス。事實上急死シタモノニ此體質ノモノハ多クアル、自分ノ經驗シタモノデモ一寸感冒ノ氣味アツタ六ヶ月ノ小兒ガ夜中ニ死シ此體質ノアツタノモアルシ、脚氣衝心ノ場合、肺炎デ死シテ立派ナ體格ノ砲兵デ之ヲ見タノモアル。又水中ニ落チ反射性ニ死シタト見ベキモノニ此體質ノ見ラレタナドヲ記サレタ。カ、ル例ヲ舉ゲバ澤山アル。

胸腺ハ一定時期ニハ退化スル臟器デアルガ、春情風發症 (Pubertus praecox) ノ場合ニハ早期退化ガアルヲ見ル。又「インファンチリスムス」ノ場合トカ又去勢後ナドニハ其後チ長キ殘存ヲ認メラル、ノデアル。カクノ次第デ胸腺ハ體質ノ上ニ無論意味ノアル事ハ考ヘラルル。

五、副腎ノ機能カラ考ヘテ、甲狀腺ト共働的デアル點、脾臟ト拮抗的デアル點カラ體質ニ意味ヲ有スル事ヲ揣摩出來ル。發育不全體質 (Status hypoplasticus) ノ場合ニ副腎髓質ノ發育不全ハ認メラル、所デアル。

六、生殖腺ハ二次性性徴ノ成ルニ關係ヲ有シテ居ルモノデアル。又發育、新陳代謝、其他ニ他ノ内分泌腺トノ相互關係ノ上ニ意味ヲ有シ居ルノデアルカラ之ガ體質ノ上ニ意義アル事ハ無論考ヘラルル。

附、「インファンチリスムス」(Infantilismus)

之ハ發育障害ノアルモノデアルガ、之ヲ起スニモ種々内分泌腺ガ關係シテ居ル。「インファンチリスムス」ニハ眞ノ小兒期ノ徵ニアルモノヲイフノデアルガ、全クノ發育停止ヲ示ストイフヨリモ寧ロ發育ノ頂點ニ達スル事ノ遲延スルト見ベキモノデ、屢々説カル、發育未了 (Ateliosis) ト見ラル、モノデアル。又一方「インファンチリスムス」ト「ゼニリスムス」(Senilismus) トハ亦甚ダ親密ナル關係ヲ有セル事ガ認メラレル。即チ發育未了デアリテ老貌 (Progerie) (Geromorphismus) トガ共ニ來ルコトガヨクアル。「インファンチリスムス」トヒロクイフテモ形態學的ニ及機能的ニ來ル異常ノ錯時的關係ヨリ、其レヲ種々ト分テバ分タレルノデアル。

イ、「フエタリスムス」(Fötalismus)

ロ、「エムブリオナリスムス」(Embryonalismus)

ハ、「インファンチリスムス」(Infantilismus)

ニ、「プエリリスムス」(Puerilismus)

ナドトスルガイトロノ型ハ全身的ノモノニハ無イ。後ノ二ツハ全身的ニモ見ラル、其廣義ノ「インファンチリスムス」ノ起リ方ニ就テモ亦次ノ様ニ分タレル。

(い)、體質性インファンチリスムス (Konstitutioneller Infantilismus) 之ハ既ニ受胎時ヨリ成立テルモノナリトセル人アリ、即チ先天性ノ全身の障害ニ基クトセラル、モノデ、此發生ニハ腦下垂體、胸腺、松果腺、副腎、脾臟ナド關係ス

ルトイハレテ居ル。

(ろ)、條件的(後天性)型 (Konditionelle, erworbene Form)

腦ノ疾患、早期ニ感染セル結核症、先天性微毒等ノ疾病ノ爲メ、其他早期ヨリ受クル慢性中毒ノ如キハ此發生ヲ來スモノトセラル、ノデアル。

七、脾臟 「アドレナリン系統ト拮抗的デアルト見做サル、之ハ又一方甲狀腺、腦下垂體ト其分泌ノ上ニ關係アルカラ此方デモ其體質ニ關係ハ成立ツノデアル。

以上ハ種々内分泌腺ヲモト、シテ之ガ體質ノ上ニ影響アルベキ可能性ヲ述ベタノデアルガ、以下實地上體質異常トセラル、モノ、二三ヲ引合ニ出シ、少シク述ベテ見タイノデアル。

體質異常ニモ全身性ノモノモアリ局性ノモノモアルガ、全身性ノモノデ主ナルモノヲ舉ゲレバ、

一、胸腺淋巴體質 (A. Patau)

普通ヨリモ甚ダシク大ナル胸腺、淋巴腺並ニ扁桃腺、舌、咽頭、腸粘膜、脾ノ淋巴裝置ノ增生ノアルモノデアル。カル體質ヲ有スルモノハ急死ノ場合ニ屢々見ラレル。然モ外的影響ガ大キクナイノニヨク急死ヲ來ス如キ場合ニ多イノデアル。此際解剖的ニハ大動脈等ノ血管ノ非常ニ狭キ事、生殖器ニ發育不全ノアル事、「クローム親和系」ノ發育不全、局部性インフアンチリスマス」ヲ伴ヘルナド其他ニモ種々ノ異常ヲ伴ヘルモノデ、即チ形態學的及機能的ノ性質アル種々ノ體質の異常ノアルモノデアル。臨牀的ニ的確ニ之ヲ知ル事ハ困難デアルトシテモ、多少定メル上ニ注意スベキ點ヲ述ブレバ、家族のニ來ル事ノアル如キ、又小兒ニテハ脂肪ノ發育善キモノアリ、皮膚ノ色淡ク、頭部大デアル(頭部ノ大ナルト關聯シ述ベキハ腦ノ「グリヤ」ノ發育ト此體質トハ關係アルラシイ事デアル)。成人デハ毛髮ノ關係ガ異性的デアリ、又脂肪沈着ノ狀モ異性的デアル場合ガ多イ、生殖器ノ發育多クハ弱ク精神的ニハ智力弱キカ、又神經性ニテ却テ頭腦善キ事モアル。殊ニ參考トナルハ大動脈率(胸部大動脈ノ最小横徑ト身長トノ比)、(普通ハ五〇—七〇ナ

レドモ淋巴體質ノ人ニハ七〇—一〇〇ナルアリト)デアル。其他筋肉發育弱ク血中淋巴球存在ノ%高シトイハレテ居ル。此體質發生ノ關係ハ明カデハ無イガ、生殖腺ガ何等カノ關係ヲ有スル事ハ否定スル事ガ出來ス。

此體質アル人ハヨク「チフテリ」ニ抵抗弱ク、其他一般ニ傳染病ニハ抵抗弱イトセラル、ガ、小兒デ殊ニ毛細氣管支炎、猩紅熱、腦脊髓膜炎デハ早ク死ノ轉歸ヲ取ルト。然ルニ「クルーブ性肺炎」ニハ他兒ヨリ比較的抵抗強シトイハレテ居ル。麻疹、破傷風ニ向テモ亦抵抗ハ弱イノデアル。急死ノ場合ノ外ヨク自殺者ニ此體質ヲ有スルモノ多ク、又一方學者カラ腦グリオームノ場合ニモ此體質者多シトイハレ、其他腸ノ炎症、胃潰瘍、氣道ノ加答兒、喘息、膽石、急性腎炎ナド起リヤスイノデアル。

二、發育不全體質 (Bartel)

Bartel ノイフ所ニヨルト、胸腺淋巴體質トイハル、モノハ多クノ體質異常ノ部分現象ト見做シ、此體質異常ハ之ヲ Status hypoplasticus 又ハ hypoplastische Konstitution トスベキモノデ、胸腺又淋巴腺ノ肥大ハ必發ノモノデハ無クシテ、唯最モ屢々來ル又ハ必要ナル部分現象ナリトシテ居ル。

人ニヨリテハ曩ノ胸腺淋巴體質ハ先天性ノ體質異常デハ無ク、後天性狀態ナリトスル人モアル。又殊ニ歐洲大戰ニ於テ知ラレシ所デハ若キ戰爭參加者ニテ疾病無ク戰死セシ人ニテハ淋巴裝置ノ増生アルハ寧ロ常態デ、今迄常態ナリトセシ萎小狀態ハ之レ疾病ニヨリ起サレタル退化ナリト唱ヘラル、ヤウナ工合デアル、從ツテ此體質ノ判定ハ左程容易デハナイガ、實際上ニ此體質ノ存在ハ今日ノ程度尙認ムベキモノデアルト思フ。一方體質性ノ淋巴質ノ人ニテハ血管ノ狹小ガアル之ハ後天性ノ淋巴腺肥大ト區別スベキ要點ダトセラレテ居ル。

サテ此發育不全體質ノ場合ニハ血管系統ニ殊ニ年齢ニ相應ジテノ發育不全著シク、心臟ハ小、動脈ハ細ク菲薄デアル、生殖器ノ成熟不全ニテ「インファンチリスムス」ノ狀ニアリ第二次性徴ノ發現少ク、多クハ淋巴裝置、胸腺、副腎ノ異常ヲ伴ヘルモノデアルトイハレテ居ル。

三、「アルトリチスムス」(Arthritismus) (Herpetismus) (英ニテハ Lithaemia)

「アルトリチスムス」トハ佛國學者ノ名ヅケタ處デ、之ニ體形ノ關係又其現象上ニモ劃然タル範圍ヲ立テ、病的意義ヲ附與スル事ハ困難ノモノデアルガ、何レニスルモ新陳代謝ノ異常殊ニ同化モ解離モ共ニ其現象ノ遲滯ヲ來セルモノデアル。即チ一方カラハ遺傳的習慣性ノ榮養障礙アルモノトセラル、モノデ、痛風、肥胖病、糖尿病、結石症、早發動脈硬化症、「レウマチス」、神経痛、偏頭痛、氣管支喘息、濕疹其他一般皮膚ノ疾患ナドヲ種々合併シテ來ス事ノアルモノデアル。之ハ上ニモ一寸觸レラレタ如クニ家族性ニ種々ノモノヲ有スルモノガ存スル場合ニ、此體質ガアルトイハル、ノデ、モトハ臨牀的ニ用キラレタモノデアルガ、之ヲ尙ヒロク用キラレタル事モアル。此發生ニ就テモ内分泌腺ノ知見漸ク進ミテ之ヲ甲状腺ノ異常機能ニ歸シ又ハ多腺性異常ニ歸セントスル人モアルノデアル。

四、滲出性素質(exsudative Diathese-Czerny)

小兒ニ於テ此素質アルハ虛弱體質又發育不全體質ト合併シ來ルコトノ多イモノデアル。之ハ炎性浸出ノ傾向多キヨリ來レル名デ、一般ニ炎性刺激及他ノ刺激ニヨリ身體及精神共ニ過敏ノ狀ニアルモノデアル。且一般ニ反射機ノ高マルル狀ニアルモノデアル。小兒ニ於テハ上氣道加答兒、結膜加答兒、皮脂漏、摩擦疹、痒疹、濕疹等ヲ起シヤスク、成人デハ喘息、腸疝痛、特異性夏日加答兒ナドヲ起シヤスイ。此素質ノ人ハ表層ノ炎性變ハ何レニシテモ多ク、之ガ輕キ原因デ起リ且ヨク再發ヲナシ易ク、從ツテ又慢性ニ移行シ易イノデアル。

此體質ハ他ノモノトノ區別ハ困難ナル事ガ多ク、此發生ヲ亦内分泌腺ノ關係ニ置カントスル人モアルノデアル。昔カラ腺病質トイハレテ居ルノハ此滲出性素質ト往々胸腺淋巴體質トノ合併セル如キガアルノデアル。今日デハ腺病トイヘバ毒性ノ弱キト見做サレテ居ル結核菌ニヨル淋巴腺ノ變ヲイフノデ、即チ之ハ疾病デ體質トハ見做サレナイ。

五、神經病性體質(Neuropathische Konstitution)

此體質ノモノハ神經性デ興奮性デアルカ、早く疲勞ヲ現ハスノデアル。

六、虛弱體質 (Asthenische Konstitutionsanomalie-Stiller) (Asthenia universalis)

此體質異常アル人ハ體格カライフテモ無力、弛緩性(atonisch)デ骨骼ホソク、筋肉弛緩シ、一般内臟下垂(universelle Ptosis)ノ傾向アリ、胸廓ハ麻痺性扁平デ第十肋骨ハ短ク其尖端遊離セルモノ多ク、胸廓上口ハセマイ。ヨク癆瘵質トイフモノニ一致シ、先ニ述ベタ體格ノ型デイヘバ呼吸器型、腦型ノモノニ屬スル事が多い。カ、ル體質ノ人ハ痛風、糖尿病ノ如キハ起リ難ク、又重症ノ慢性レウマチス、慢性腎炎、變性心疾患、血管ノ疾患モ起リ難イ、且急ニ心臓死ヲ起シ又腦死ヲ起シタリスル事モ少ク、高度ノ動脈硬化症又狹心症ヲ起ス事モ少イ、然シ肺結核症ハ甚ダ起リ易イノデ、カ、ル人ハ其方ニ注意ヲ要スルノデアル。

附、所謂「スチグマタ」(Stigmata)トシテ即チ身體ヲ外ヨリ觀察スル時見出サル、個々ノ特徴デ、タトヘバ身體ノ左右非相對性ノ事(殊ニ顔面、頭蓋)、顎部突出、頤部突出、齒形成異常、外耳ノ形成異常、發毛異常、生殖器ノ異常ノ如キモノハ之レ遺傳的ノ特徴ノ發現トシテ、屢々精神病患者殊ニ精神病的犯罪者ニ於テ特殊ナル意味ヲ有スルモノトシテ注意ノ向ケラル、モノデアル。所謂變質型ノモノガ之デアル。

以上ハ唯今日體質ニ就テ考ヘラル、所ノ極大體ヲ述ベタニ止ル。之レノ臨牀病理學上ニ於ケル關係殊ニ機能性疾患又器質性疾患ニ對スル關係、又内分泌腺ノ異常又體質異常ト抗體形成トノ關係トカ、又種々豫防上ノ立場ヨリノ觀察等面白キ方面ノ事モアルガ、時間ノ都合上今ハ之デ打切リトシタイ。